

イノベーションかながわ 2014

メッセージ



神奈川県知事 黒岩 祐治氏

「成長戦略は神奈川県に
お任せ下さい」
先日、官邸を訪れた私は、
安倍総理に自信満々にそう
神奈川全域が指定された

「神奈川モデル」発信

ヘルスケア・ニューフロンティア

のだから、それは当然の使
命だと私は思っている。
今、神奈川県はこの特区
を最大限に活用し、圧倒的
なスピード感をもって、異
次元のグローバル戦略を加
速させているところであ
る。間もなくやってくる人
類が経験したことのない超
高齢社会をいかに乗り越え
るか、それが我々の掲げた
「ヘルスケア・ニューフロ
ンティア」という挑戦だ。
再生医療など最先端の医
療・技術を目指すアプロ
チと、「未病を治す」と
いう東洋医学的発想を融合
させることにより、健康寿
命を伸ばしていくという
ものである。健康と病気を
連続的な変化の中でとらえ
よとする発想が「未病」
だ。食のあり方や、日常的
な運動が未病を治す上では
特に重要となっている。
そして、未病の状態を最
先端のモニタリング技術で
「見える化」し、高度な情
報解析により、個別的に未
病を治していく。そのプロ
セスそのものが、新たな産
業の創出にもつながるとい
うのが、我々の構想であ
る。これまでヘルスケアと
は縁のなかつたような大企
業とともに、ベンチャーや
中小企業も続々と参入しつ
つある。神奈川は熱く燃えている。



ロボット特区発の第一号商品、エルエビー（厚木市）のパワーアシストハンドの実証実験

改革と経済成長をけん引する神奈川県の特
区「京浜臨海部ライフイノベ
ション国際戦略総合特区」と、さがみ
みろびロボット産業特区。ここに新
たな成長エンジン、国家戦略特区が
加わることによって、規制緩和を通
じて健康・医療市場のビジネス環境
を整備し、革新的な新規ビジネスモ
デルを確立する。三つの特区が融合
して生まれる神奈川発のヘルスケア・イ
ノベーションが日本の成長を支える。

3 特区で成長戦略の担い手に

2013年3月、神奈川県、
横浜市、川崎市は東京圏として
国家戦略特区に指定された。黒
岩祐治知事は「3つの特区を勝
ち取ったことで、県の取組む
方向がはっきりした」と強調
各特区の推進に向けて強い意欲
を示した。
約3年前に「超高齢社会を乗
り切る神奈川モデルを作り上げ
る」との構想で動きだした黒岩
知事。プロジェクトは「ヘルス
ケア・ニューフロンティア」と
名付けられ、11年には「医療の
出島」と位置づける京浜臨海部
ライフイノベーション国際戦略
総合特区、13年には県中部に生
活支援ロボットに関する産業集
積を進めるさがみろびロボット
特区が開始した。今回、指定を
受けた国家戦略特区ではさらに
大胆な規制緩和が期待される。
ヘルスケア・ニューフロンテ
アの核となるのが、最先端テ
クノロジーの導入と「未病」の
治療だ。未病とは、健康と病気
の中間に位置する状態のこと。
県では県民の健康状態をモニタ
リングするための技術などを導
入することで一人ひとりに合わ
せた個別化医療を実現し、健康
寿命の延長を目指している。
最先端テクノロジの追求を
担う3つの特区のうち、ライフ
イノベーション特区は、東京湾
岸の臨海部に再生医療などの研
究開発から実用化までを目指す
世界最高水準の拠点整備を進め
てきた。13年10月には横浜市立
大学附属市民総合医療センター
（横浜市南区）や神奈川県立
んセンター（同旭区）などが新
たに加わり、拠点数が4から17
に拡大。総司令部と位置づける
ライフイノベーション国際協働
センター（GCC）は米国のメ
リーランド州とマサチューセツ
ツ州の大学や研究所など、MOU
（覚書）を締結するなど、シン
ガポール政府機関に続いて国際
共同実験ネットワークの構築を
進めている。
一方、県中部のロボット特区
では13年度に放射線検測ロボッ
トなど合計16件の実証実験を
実施。1月にはサイバーダイ
ン（茨城県つくば市）の動作支援
ロボット「ロボットスッパ
（ハル）福祉用」などを導入
するリハビリ施設、湘南ロケ
アセンター（藤沢市）が稼働
した。14年度は廃校も実証フ
ィールドとして活用し始め、実証
実験の件数拡大を目指す。これ
らの成果もあって、6月には特
区発の第一号商品としてエルエ
ビー（厚木市）が「パワーア
シストハンド」の発売にこぎ着
けた。
神奈川県は急速な高齢化社会
に直面している。2050年には
人口の一番多い世代が85歳以
上となり、人口ミッドは逆
さ向きになる予想だ。だが、こ
うした変化を乗り越えるモデル
を構築できれば、それは日本全
体、さらには世界のモデルにも
なりえる。
成長戦略は神奈川が担う。
神奈川の挑戦は着実に歩みを進
めている。

1 神奈川県

HEMS評価試験機器



未来を支える、キクスイの技術。

キクスイは、スマートシティすなわち「環境・新エ
ネルギー分野関連技術」のソリューションを「創エ
ネ（発電技術）」、「蓄エネ（蓄電技術）」、「省エネ（効
率化技術）」の3つと捉え、各々に対応する製品を提
供しています。主要製品としては、「直流電源」そし
て電気エネルギーを吸収・消費する「電子負荷」に
なります。とりわけ電子負荷は、「創エネ・蓄エネ」
に不可欠な評価機器であり、需要の大きな伸びが期
待できる製品です。「省エネ」分野においては、規格
評価や系統連系（受発電の双方向接続）試験の中核
設備となる交流電源、また電気・電子機器の安全性
を試験する「耐電圧試験器」等を提供しています。



HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)と
キクスイ製品(代表的な試験用途)

for Smart Life